

連休期間における豚熱、アフリカ豚熱、 口蹄疫等の防疫対策の徹底について

口蹄疫やアフリカ豚熱は近隣諸国やアジア地域で流行が継続していますが、口蹄疫については2025年以降、清浄国であったドイツ、ハンガリー及びスロバキアで発生が確認されたほか、ワクチン接種により発生を抑制している韓国では本年3月に1年10か月ぶりとなる発生が全羅南道の牛農場で確認され、4月以降は豚農場でも発生が続くなど、流行状況の変化に注意する必要があります。アフリカ豚熱については、アフリカ地域のほか、欧州、ロシア、アジアが流行地域となっていますが、特にアジア地域では日本と台湾を除いて広く浸潤しており、韓国でも継続的に発生が確認されている状況です。

豚熱については、県内の野生いのししの感染が確認されており、4月には宮崎県で新たに感染事例が確認されています。引き続き、地域の関係者が一体となって野生いのししの捕獲強化や経口ワクチン散布、野生いのししによるウイルス拡散の防止に関する登山者等への注意喚起等を推進するとともに、農場へのウイルス侵入防止を徹底することが重要です。**以下の対策の徹底をお願いします。**

1 畜産関係者の海外渡航の自粛

- ・ 海外における口蹄疫等の発生状況を把握し発生地域への不要不急の渡航を自粛してください

2 外国人従業員の方が従事する農場での注意点

- ・ 外国人従業員の方を受け入れている農場では、日本への持込みが禁止されている肉製品や農場で使用する作業服、器具等が海外から持ち込まれることのないよう従業員に周知してください

3 農場における病原体の侵入防止対策

- ・ 看板の設置等により、家畜の飼養管理に関係のない者（観光客等）が衛生管理区域に立ち入らないようにしてください
- ・ 農場の防護柵、農場内や周囲における野生動物の隠れ場所の排除、こぼれ飼料や死体の適切な処理、堆肥置場へのネットの設置、畜舎の壁・天井の破損や隙間等の点検と修繕等、野生動物との接触防止に努めてください
- ・ その他、農場に出入りする人の更衣や靴の交換、手指消毒、物・車両等の消毒等の衛生対策を徹底するようにしてください

4 早期発見及び早期通報

- ・ 豚熱、アフリカ豚熱、口蹄疫等の特定症状が見られた場合、速やかに当所に報告ください
- ・ 飼養家畜の健康観察を入念に行い、早期発見に努めてください

県南家畜保健衛生所 TEL：0957-68-1177

防疫課メールアドレス：s11350@pref.nagasaki.lg.jp

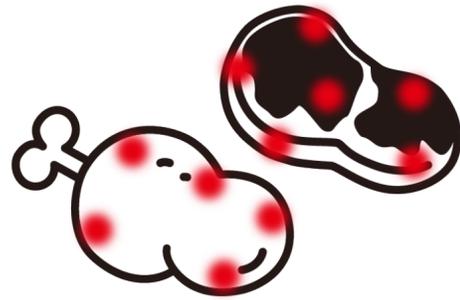
土日祝日の休庁日は上記の電話番号

に連絡をお願いします。

アフリカ豚熱ウイルスの侵入を防ぐためのお願い

侵入経路 ①

肉類に付着



- 肉の入った食品を国内に持ち込まない



- 肉の入った食品を野外に捨てない



侵入経路 ②

人に付着



- 海外では
 - 靴などについた土は落とす
 - 動物がいる施設に行かない



- 空海港では指示に従って消毒



- 国内では
 - 帰国後1週間、観光牧場等に行かない
 - 家畜がいる施設に近づかない
 - 野生イノシシや罾・柵に近づかない



アフリカ豚熱

そこまできています

発生を未然に防ぐことが
日本の養豚を守るために極めて重要です。

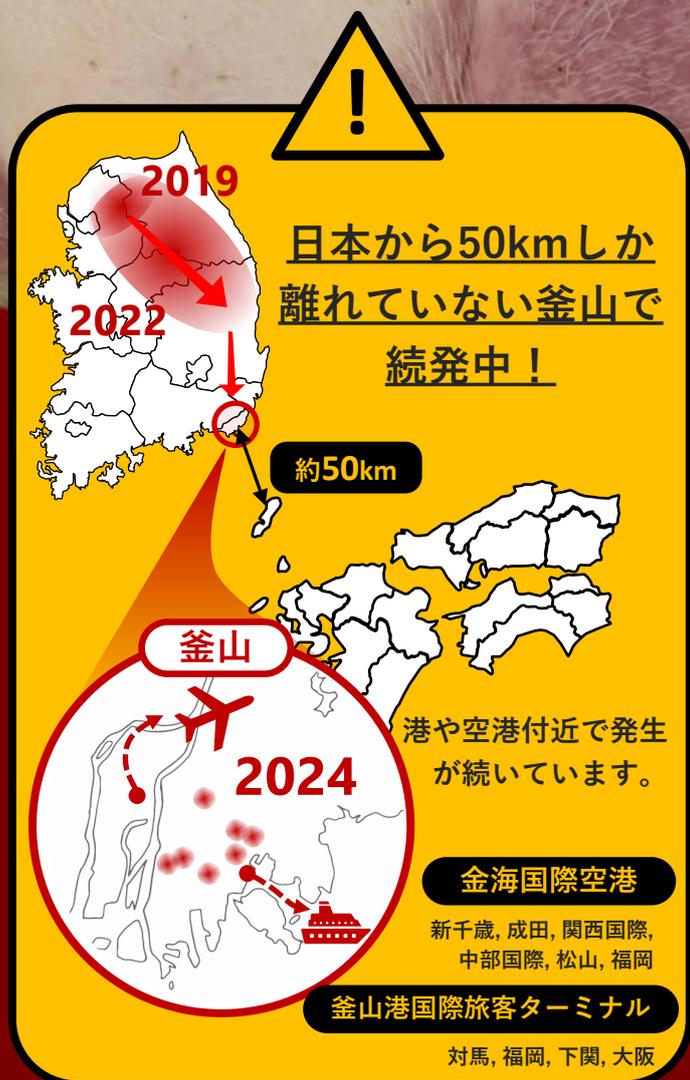
皮膚の出血や全身のチアノーゼが
特徴。他には食欲不振・沈鬱等。

農場へのウイルスの侵入を防ぐために、

すぐに農場の 衛生対策を再点検！

- ❗ 致死率はほぼ**100%**
- ❗ 中国で発生による死亡・殺処分により
豚の飼養頭数が**4割減少**
- ❗ 周辺農場も殺処分の可能性

❗ 有効な治療法や
ワクチンはない



1 野生動物対策



農場を囲う柵を設置するとともに、破損などがないか定期的に点検。

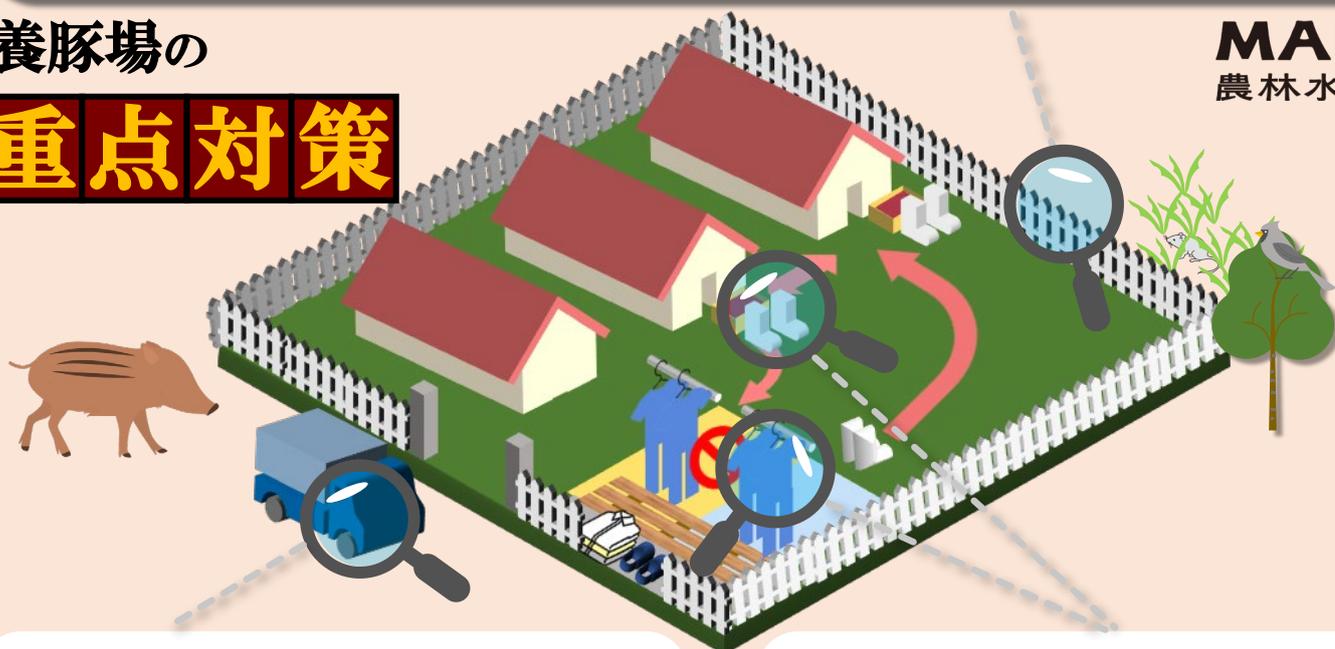
農場辺縁を含め敷地内の草刈りや枝の剪定を行い、野生動物が隠れる場所を作らない。

死亡家畜は野生動物を誘引しないよう適切に保管。

養豚場の

重点対策

MAFF
農林水産省



2 農場内や進入車両の消毒



畜舎周囲・農場外縁部に定期的に石灰を散布。

車両の洗浄・消毒も忘れない。車体、タイヤ周りや溝の汚れをしっかりと落とす。

3 更衣・履き替えの徹底



洗浄・消毒された衛生的な衣服や長靴を用意。

長靴は履き替えを徹底し、使用後は洗浄してから消毒し、消毒薬は定期的、または汚れた都度交換。



豚肉・豚肉製品を絶対に豚に与えない・捨てない！
従業員にも周知・徹底を！





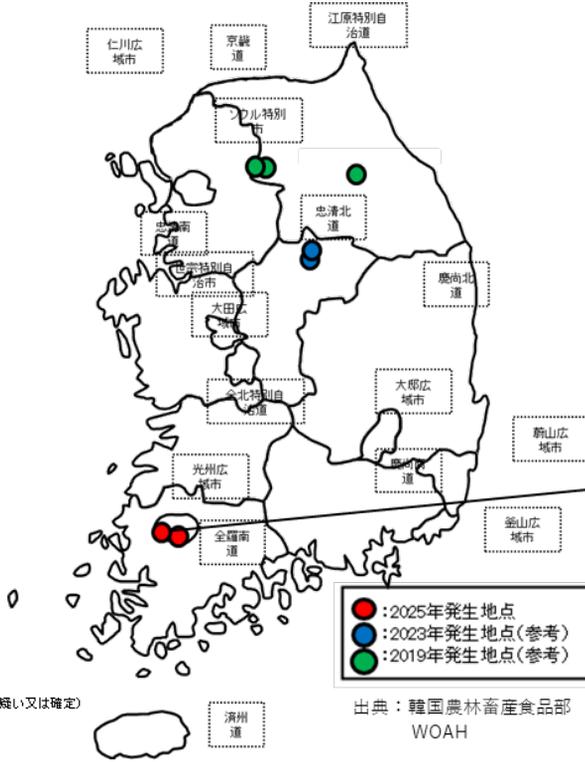
韓国で口蹄疫が発生！



今一度、発生予防を徹底しましょう！

韓国では、2025年3月に1年10ヶ月ぶりに口蹄疫の発生が確認されました。現在、我が国へ侵入するリスクが極めて高い状況が続いています。

韓国における口蹄疫の発生報告状況（2025年4月14日時点）



| | |
|-----------------|--------------------|
| 全羅南道 (19件) | |
| 3月13日 (確定日は14日) | 霊岩郡 牛: 1件 (O型) |
| 3月14日 (確定日は15日) | 霊岩郡 牛: 3件 (O型) |
| 3月15日 (確定日は16日) | 務安郡 牛: 1件 (判定不能) |
| 3月17日 | 霊岩郡 牛: 3件 (O型) ※ |
| 3月18日 | 霊岩郡 牛: 2件 (O型) ※ |
| 3月19日 | 霊岩郡 牛: 2件 (O型) ※ |
| 3月20日 | 霊岩郡 牛: 1件 (O型) ※ |
| 3月23日 | 霊岩郡 牛: 1件 (判定不能) ※ |
| 4月10日 | 務安郡 豚: 2件 (O型) ※ |
| 4月12日 | 務安郡 豚: 2件 ※ |
| 4月13日 | 務安郡 豚: 1件 ※ |

*関連農場2農場(いずれも検査陽性)あり。

2025年4月14日時点
農林水産省動物衛生課

注:日付はWOAH報告の発生日
ただし、WOAH球報告の場合は韓国当局公表日(疑い又は確定)
とし、件数の後に※マークを記載
頭数は当該農場で飼養されている感受性動物数

豚農家の皆様へ 発生予防の徹底をお願いします！

- 農場の出入口に看板を設置するなどにより、**関係者以外の立入を制限**しましょう。
- 農場の出入り時は、**専用の靴・衣服を着用し、手指を消毒**するとともに、持ち込む**物品**や出入りする**車両の消毒を徹底**しましょう。
- 畜舎の出入り時は、**専用の靴・衣服※を着用し、手指を消毒**するとともに、飼養管理で使用する**物品は定期的に消毒**しましょう。
※ 大臣指定地域に限る。
- 従業員の方も含め、**口蹄疫が発生している国への渡航は可能な限り控える**とともに、これらの国からの郵便物等は衛生管理区域に持ち込まないようにしましょう。
- 毎日、飼養家畜の健康観察**を行い、**疑わしい症状があれば直ぐに通報**しましょう。



専用の衣服・靴等の着用や効果的な消毒を実施しましょう！

- ・ 衛生管理区域に立ち入る場合には、**専用の靴や衣服**を着用し、**手指消毒**を実施しましょう。
- ・ 畜舎ごとに**専用の靴・衣服***を着用し、**手指消毒**を実施しましょう。
※大臣指定地域に限る。



専用の服や靴の使用、手指消毒

◎効果的な消毒のポイント

- ・ 靴や衣服が汚れた時には、洗淨・消毒しましょう。踏込消毒槽の消毒液は、汚れで効果が薄れるので、**まずは汚れを落としてから消毒**しましょう。また、消毒液が汚れていたら、**直ちに交換**しましょう。
- ・ 農場に出入りする車両を消毒する時は、タイヤのみを消毒するのではなく、**泥よけの内側部分まで消毒**し、衛生管理区域内で降車する場合に**農場専用のフロアマット**等の使用や**車内（ハンドルやドアノブ等）の消毒**を実施しましょう。



推奨される踏込消毒槽の設置方法！

② 消毒液の槽



① 水洗の槽



汚れをしっかりと落としてから消毒！



車両はタイヤだけでなく、**泥よけの内側まで消毒**し、**フロアマットの交換**や**ペダル等車内も消毒**

《要注意》

- ★ **逆性石けんやアルコールは口蹄疫の消毒薬としては不適です！**
- ★ **消毒効果が弱まるので、酸性とアルカリ性の消毒薬を同時に使用しないこと！**

疑わしい症状は直ちに通報を！

口蹄疫は牛や豚などで発熱や食欲不振に始まり、後に**泡状のよだれ**を流したり、**口、ひづめ、乳房に水疱（水ぶくれ）**ができるのが特徴です。

～豚の症状～

写真：宮崎県提供



<A型口蹄疫ウイルスの感染実験の結果>

写真：動物衛生研究部門提供



接種3日目



接種4日目

多数の水疱病変を確認

➡ **毎日必ず健康観察**し、これらの症状を見つけ次第、直ちに**獣医師**や**最寄りの家畜保健衛生所**に**連絡**しましょう。

連絡先：

（最寄りの家畜保健衛生所の
連絡先を記入しておきましょう！）

家畜の伝染病の 侵入防止への 協力をお願い



今、世界では**アフリカ豚熱**と**口蹄疫**という家畜の伝染病のまん延が大きな問題となっています。これらは、**肉製品や衣服、靴などを介して感染拡大**します。これらが日本に侵入すれば、**畜産物の安定供給に深刻な悪影響**を与えるおそれがあります。国内への侵入を防ぐため、皆様の協力が必要です。

01 アフリカ豚熱、口蹄疫とは

アフリカ豚熱 (ASF)



特性

- 致死率はほぼ100%（甚急性型、急性型の場合）
- ウイルスは長期間にわたって環境中に生存（冷凍なら**1,000日**以上も）
 - pH4~11でも、血液や糞便中でも、豚肉や加工品（塩漬ハム等）の中でも生存できる

予防・治療

有効な治療法や予防法はない、ワクチンはない

損害

中華人民共和国で死亡・殺処分により飼養頭数が4割減り、豚肉価格が2倍以上に（2019年の事例）

口蹄疫 (FMD)



特性

- 口や蹄にできた水疱が痛くてエサを食べなくなり、産業動物としての価値が著しく低下
- ウイルスの感染力が極めて強い
 - 空気感染する（風に乗って**60km**以上離れた農場に移った例も）
 - 豚1頭が1日に排出するウイルス量は牛を最大**1,000万頭**感染させる量に相当

予防・治療

有効な治療法はない、ワクチンはあるが感染自体は防げない

損害

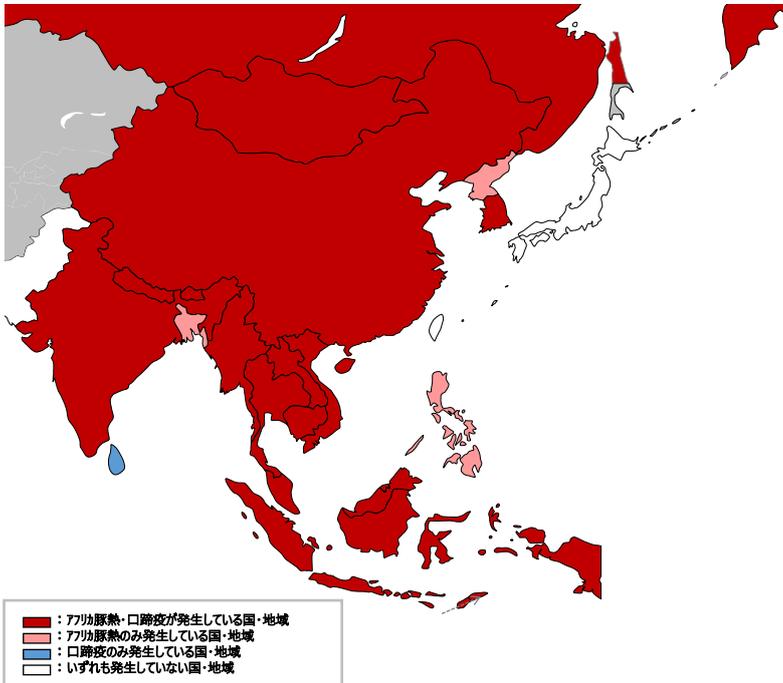
過去に国内で30万頭の牛・豚を殺処分し、2,350億円の被害（2010年の発生に関する宮崎県の試算、関連産業含む）

※ いずれの病気も**人への感染の心配はない**注

注：海外では口蹄疫ウイルスに極めて濃厚に接して感染した事例がごくまれに報告されるが、通常の生活の中で人に感染することはない。万が一感染した場合は軽い発熱や口内炎になる程度で速やかに回復し、死亡例はない。

02 アジアでの発生状況

- アフリカ豚熱は、2018年に中国に侵入後、**アジア各国に拡大**。
 - 口蹄疫は、**多くの国で継続的に発生**。
 - **いずれの病気も発生していないのは日本や台湾などごく限られた国・地域※**。
- ※ 日本や台湾では過去に口蹄疫が発生したことがあるが、その後清浄化している。



2024年1月10日時点
 出典：WOAH、各国のウェブサイト等
 注1：本資料における「発生」はWOAHに報告されたもの
 注2：初発生年はWOAHに発生が報告された年
 注3：口蹄疫発生国・地域は2021年以降で、括弧内は発生数

アフリカ豚熱の初発生年

| 国・地域名 | 初発生年 |
|---|-------|
| 中国 | 2018年 |
| 香港、モンゴル、北朝鮮、韓国、ベトナム ラオス、カンボジア、フィリピン、ミャンマー インドネシア、東ティモール | 2019年 |
| インド | 2020年 |
| マレーシア、タイ、ブータン | 2021年 |
| ネパール | 2022年 |
| シンガポール、バングラデシュ | 2023年 |

口蹄疫発生国・地域

| 国・地域名 | 発生年 |
|--|-------|
| 中国(2)、ロシア(1)、ベトナム(28) カンボジア(41)、マレーシア(21)、タイ(47) インド(105)、ブータン(24)、ネパール(40) モンゴル(102)、スリランカ(36) | 2021年 |
| 中国(1)、カンボジア(24)、タイ(108) マレーシア(28)、インドネシア(不明) インド(103)、ブータン(3)、ネパール(66) モンゴル(3)、スリランカ(57) | 2022年 |
| 中国(4)、韓国(11)、ネパール(15) カンボジア(3)、マレーシア(7) インドネシア(不明) | 2023年 |

注：検査体制や、まん延により報告が十分でない場合やワクチンにより発生が見えにくく汚染状況と発生数が一致していない場合がある。

03 侵入を防ぐためにできること

1 海外から肉の入った食品を持ち込まない

- 感染した肉を**動物が食べる**と感染
- 不法持込された肉製品から**生きたアフリカ豚熱ウイルス**を発見

持込禁止



2 野外に肉の入った食品を捨てない

- ハイキングのお弁当やバーベキューの**食べ残し、ごみ**からも感染
- アフリカ豚熱に感染した肉の入っていた**トレーをイノシシが舐めた**だけで感染
- 海外では**野生イノシシ**でアフリカ豚熱がまん延し、根絶が困難に

野外放置禁止



3 帰国後1週間は動物に近づかない

- **服や靴**についたウイルスを介しても感染

